

# コロンビア現代史

フェルナンド世在作成

コロンビア内戦の始まり

1849年自由党、保守党発足

千日戦争 (1899-1902年)

1900年頃

ビオレンシア  
(暴力の連鎖)

自由・保守2代政党の抗争: ビオレンシア (暴力の連鎖)  
労働争議

バナナ農場虐殺事件: 米ユナイテッド・フルーツ社 1928年

1950年頃

ボゴタッソ  
(ボゴタ騒乱1948年)

自由党ホルヘ・エリエセル・ガイタン大統領候補暗殺 1948年

ゲリラ割拠 1964年頃~  
ELN (民族解放軍) M19 (4.19運動) EPL(解放人民軍) 他

コロンビア  
内戦

1966年 FARC (コロンビア革命軍) 結成

ガルシア・マルケス『百年の孤独』発刊

自由・保守両党の国民戦線  
協定成立 (~1974年)

麻薬サミット 1990年  
カルタヘーナ宣言

麻薬戦争

自由党ガラン大統領候補  
暗殺 1990年

経済安定成長

1993年 エスコバル射殺  
(メデジン・麻薬カルテル)

2000年頃

近年の歴代大統領:  
ベリサリオ・ベタンクール (保守 1982-86)  
ビルヒリオ・バルコ (自由 1986-90)  
セサル・ガブリア (自由 1990-94)  
エルネスト・サンペール (自由 1994-98)  
アンドレス・パストラナ (保守 1998-2002)  
アルバロ・ウリベ (自由系 2002-06)  
アルバロ・ウリベ (自由系 2006-10)  
フアン・マヌエル・サントス (国民統一党 2010~)

1999年 コロンビア計画

米国軍事援助

エル・ノガル・クラブ自動車爆弾テロ事件 2003年

米国-コロンビア軍事同盟 2009年

2016年~

経済好転・治安回復

政府-FARC 和平交渉  
進展 2016年

コロンビアの  
夜明け間近